



今月の公開授業

① 「マナーアップのためのデザイン」

1年1組 美術 伊藤 裕貴 教諭

1/14 (火) 4限目に「プレゼン資料のための効果的なレイアウトを考える」という授業が行われました。生徒たちは、様々な条件を踏まえた上で効果的なポスターを作るために、同じグループのほかの3人からあれこれアイデアをもらいながら、レイアウトを作成する活動をしていました。これは、以前から伊藤先生が取り組まれてきた授業内容であり、「様々な分野の知識や技術を統合して考えることが必要とされる分野」ということで、「教科横断型の授業を展開する可能性を多分に秘めている」という伊藤先生のお言葉どおり、PT会議では、英語、数学、国語、家庭などから教科横断型授業の種が生まれていました。

(左下は授業の様子、右下はPTでの実践報告の様子)



第9回PT会議より

1/30 (木) に行われたPT会議は、授業の実践報告と令和2年度センター試験の分析を行いました。センター試験の分析においては、4・5人くらいのグループでセンターの出題傾向を話し合い、発表しました。(内容は概略)

国語：問題の難易度や出題方法は例年と変わらない。

数学：数学IAで、目新しい問題の出題があったため、生徒は苦勞していたが、基礎基本を身に付け、落ち着て解けば解ける問題であった。やはり、基礎基本を身に付けることが重要である。

英語：例年とあまり変化なし。設問の英文が長くなっている。来年より、リスニングの割合がかなり増えるが、生徒は危機感を感じていない。リスニング力を上げるにも、基本的に今やっている英単語の語彙力や読み取る力が必要である。

社会：世界史：現代史からの出題が増えたのと、教科書には載らないマナーなものも出題された。教員の難しいと感じる問題と、生徒が難しいと感じるところが違う。

理科：物理：公式を覚えていてもすぐに解けない問題が増えた。

② 「死刑制度の廃止を考える」

1年3組 現代社会 相道 孝志 教諭



1/27 (月) 3限目に行われました。

「(設問)死刑廃止・終身刑導入

日弁連、終身刑導入を運動方針に 死刑廃止への道筋示す」という内容の朝日デジタルの記事を読み、

- 1 日本で、死刑を廃止し、終身刑を導入することに賛成
- 2 日本で、死刑を廃止し、終身刑を導入することに反対

のどちらかに分かれて討論を行いました。最初は半々だった意見が、遺族感情や罪人の生活を税金でまかなうといった意見の支持者が増え、最終的には「死刑存続」側が「死刑廃止」を圧倒する結果となりました。

ちなみに、先進国で死刑制度を実施しているのは日本だけだそうです。

それにしても、相道先生の授業はいつもテーマ設定が絶妙だと感じずにはいられません。テーマと、自分と、クラスメートと対話しながら生徒たちは活発に討論に取り組んでいました。

(下は1月職員会議での相道先生からの報告の様子)



お知らせ♪福井新聞さんとNHK福井放送局さんから取材を受けました！近日中に福井新聞掲載予定です！NHKでは2/13(木)18時代のニュースで放送予定です。お楽しみに！

【ふたりごと】3年生は最後の仕上げ！頑張り！私たちが日々、魅力ある授業を展開すべく努力あるのみです！（松原・辻崎）